

平成28年6月23日

福生市長 加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査員 田中 俊朗

副代表監査員 向出 香苗

清水 勲

石川 健三

福井 榮子

## 数値目標監査報告書

F-e 数値目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査日時

平成28年6月23日（木） 10:00～12:00

### 2. 監査対象

福生市役所

※市有施設におけるエネルギー使用量（電気・都市ガス・LPG・A重油・軽油）および自動車利用によるエネルギー使用量（ガソリン・軽油・天然ガス）については消防団施設を除く。電気使用量については、道路照明を除く。可燃系廃棄物発生量（重さ・400袋）については小中学校を除く。水道水使用量については消防団施設、市営プール、小中学校プールを除く。

### 3. 監査結果

		平成 27 年度 数値目標			達成状況	部門評価
		内容	目標値	実績		
環境配慮	市有施設におけるエネルギー使用量削減	電気	6,681 千 kWh	6,595 千 kWh	達成	△
		都市ガス、LPG、A 重油、軽油	578.7kℓ	569.1 kℓ	達成	
	自動車利用によるエネルギー使用量削減		39.5kℓ	37.5kℓ	達成	
	市有施設における可燃系廃棄物発生抑制	重さ	30,059kg	26,669kg	達成	
		40ℓ袋	2,514 袋	2,237 袋	達成	
	コピー用紙の使用量削減		4,967 千枚	5,055 千枚	未達成	
	市有施設における水道水の使用量削減		82,489 m <sup>3</sup>	89,371 m <sup>3</sup>	未達成	
環境経営	各課の環境配慮取組み状況の点検	環境配慮調査の実施	4 回	4 回	達成	○
		環境協働報告	2 回	2 回	達成	
	環境配慮に関する取組み状況の内部共有	会議録の情報発信	5 回	5 回	達成	
		情報発信 (F・e ニュースの発行)	4 回	4 回	達成	
環境協働	環境配慮取組み状況の情報一般公開	広報・HP	4 回	7 回	達成	○
		「福生市の環境」への掲載	1 回	1 回	達成	
	市民編集員による環境情報の発信 (かんきょう通信)		2 回	2 回	達成	

※ 評価：○＝良好、△＝軽微だが改善すべき点あり、×＝勧告に値すべき点あり

## 4. 所見

平成 27 年度の数値目標の達成状況について監査した結果、環境配慮の視点の目標は「軽微だが改善すべき点あり (△)」、環境経営ならびに環境協働の視点の目標は「良好 (○)」と評価しました。以下に評価所見をまとめます。

### 1. 環境配慮

7つの目標項目のうち、2項目で目標達成に至りませんでした。

未達成のうち水道水の使用量については、施設における漏水のほか、数施設での利用者増が理由とみられます。増加量の要因となった漏水が老朽化による事故なのであれば、同様に経年劣化が考えられる他の施設においても機器のチェックをする対策が必要になります。施設利用者や児童数の増加による使用量については、利用者への注意喚起を考える必要があるかもしれません。

一方の、コピー用紙の使用量削減については、新規事業や計画策定における資料作成が要因として挙げられています。これらは、平成 26 年度に導入した年度途中での目標値変更制度がより効果的に運用されるようにさらに周知徹底を図り、現実的な目標値を立てるようにしてください。

また、一部に現実とかけはなれた目標値が設定された部署がありました。活動の目安として相応しく、実績を正確に判断するために、信憑性のある目標値を設定されることが結果に結びつくのではないのでしょうか。

### 2. 環境経営

各部署取組み状況の実施や報告の点検、取組み状況の情報発信による内部共有はほぼ予定どおり実施されています。環境配慮の課題との関連では、目標値変更の際に適正な数値を設定することが望まれます。

引き続き、適時・的確な情報発信をお願いします。

### 3. 環境協働

市民編集員による環境情報の発信は定着し、広報・HP での取組み状況の一般公開は回数が倍増しており、市民への波及効果が期待できます。F-e ニュースは視覚化され、親しみやすい紙面になっています。

環境協働事業に関しては、昨年来対象事業のない項目がありました。分類の見直しまたは視点を変えての事業拡大を検討してください。

### 4. 今後への提言

#### (1) 目標設定

年度途中での数値目標変更ができる仕組みが運用されていますが、有効な活用のためには、新規事業等の該当部署の確認や、環境負荷調査での見直しや事務局からの助言が必要であるかもしれません。

年度当初の数値目標設定、年度途中での目標変更のどちらにおいても、厳格かつ現実的な数値を設定するようにしてください。

なお、目標値を超えた場合でも、それらの事業や計画により市民生活の向上などの効果がみられるのであれば、監査等において評価することを、今後は考えるべきと思われます。

#### (2) 公共施設の管理計画とのリンク

F-e 活動の定着で職員の環境配慮行動などのソフト対策はほぼ行き届いてきています。環境負荷については個々が標準の値を把握し、自ら目標を立て、異常値があれば対応できるマネジメントを行うべきでしょう。

その上で、今後は福生市公共施設等総合管理計画とリンクした設備更新の計画を作成するなどハード対策中心にシフトしていくことで、第 3 次地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた効果的なマネジメントシステムの運用を期待します。